

# 第56回吉岐市美術展覧会 各賞受賞者

【絵画部門】  
審査員・品川哲範  
▽県知事賞  
デンドロニウム・斉藤弘子(勝本)  
▽市長賞  
桜の花が咲く風景・中尾富子(勝本)  
▽市教育委員会賞  
久喜港・渡野栄治(勝本)  
▽吉岐日々新聞社賞  
裸婦2012・松嶋四郎(芦辺)  
▽吉岐文化協会賞  
バラ・宮崎清則(郷ノ浦)  
▽市美術協会賞

かぶら・宮津富子(芦辺)  
花・吉田律子(郷ノ浦)  
桜・土谷澄子(郷ノ浦)  
読書・長嶋清亮(郷ノ浦)  
初夏・田口和夫(郷ノ浦)  
【審査概評】  
今年度は、出品点数36点、出品者数22人で、作品数は昨年と比べ、若干減少した。作品の傾向としては、新人作家も見られ、個々に充実したものがあった。今回は、移動展と同時開催のため、多くの作品にふれることができ、今後さらに創作意欲が出るものと期待する。



絵画

## 平成24年文芸祭 特選・準特選作品

### 【短歌】

琴岡弘子 選

●特選  
魚町の墓標はなべて海を向く春一番の悲話をもつ鳥  
柳澤幸子  
《評》トンネルを抜けるとそこは海。魚セリの市場があり漁協があり、道はやがて小さな漁港や漁師町へと続いている。その町を守るかのような小高い丘の上は墓地。作者はウォーキングの道すがらにでも、この風景を見慣れておられるのだろう。そこは春一番の碑もほど近い。「春一番」の言葉発祥の地の住人ならではの一首である。

●準特選  
紅葉狩り愛でし友がまた一人島を去りゆく子に從ひて  
宮津富子

【彫塑・工芸部門】  
審査員・種田多恵子  
▽県知事賞  
花器・山内昌子(石田)  
▽市長賞  
水玉・野元敬純(郷ノ浦)  
▽市教育委員会賞  
火色焼締器・森山静子(芦辺町)  
▽吉岐新報社賞  
花器・山川生男(石田)  
▽吉岐文化協会賞  
天に登れ・梶田聖子(石田)  
▽市美術協会賞  
花器・空閑清子(石田)  
少女・浦辺朝子(郷ノ浦)  
手長猿・福田敏(勝本)  
きはつちみよか・大前精代(石田)  
幸せのはじまり・吉永昭子(石田)  
【審査概評】  
彫塑・工芸の作品は、32点、24人の出品者とい

るものと期待する。県知事賞の齊藤弘子さんの「デンドロニウム」は、花が持つ美しさと質感を巧みに表現し、自然のすばらしさと美しさを感じとることができた。今後は、大きなサイズに取り組み、新たな追求、発見に取り組んでもらいたい。皆様のこれからの活躍を心からお祈りいたします。



彫塑・工芸

う数でした。各町によるサークル活動に支えられて裾野がひろがって来ていることは大変喜ばしいことです。今回は同じ会場で、長崎県展も展示されています。めったに見る機会のない島民の私たちにとって、大いに勉強になり刺戟をうけて今後の作品に反映されたら幸いです。作品は小さくても、手間ひまをかけた愛情とぬくもりを感じる作品ばかりで、審査が大変むずかしいものでした。

【書部門】  
審査員・川上幸枝  
▽県知事賞  
漢詩・石原美津子(郷ノ浦)  
▽市長賞  
陳鶴詩・熊本長治(勝本)  
▽市教育委員会賞  
かな・西村光國(郷ノ浦)  
▽吉岐新聞社賞  
漢詩・西純子(芦辺)  
▽吉岐文化協会賞  
漢詩・坂口恵美子(郷ノ浦)  
▽市美術協会賞  
漢詩・松山秀樹(勝本)  
漢詩・末永徳春(郷ノ浦)  
漢詩・瀬川美枝子(芦辺)  
漢詩・松尾龍也(郷ノ浦)  
漢詩・豊永田美子(郷ノ浦)

### 【俳句】兼題「雑詠」

野田隆也 選

●特選  
母を知る人とはかほか日向ほこ  
百崎治子  
《評》日当たりの良い縁でゆくりしておられた。そこに知人が見えた。母上を良く知っておられる方で、母上とそっくりと思われたのか、次々と昔のことから始まり、話題は尽きない。良い日向ほこの一日であった。ほかほかでなくほかほかで良かった。

●特選  
仕舞風呂ボトリと栗の落ちる音  
横山幸子

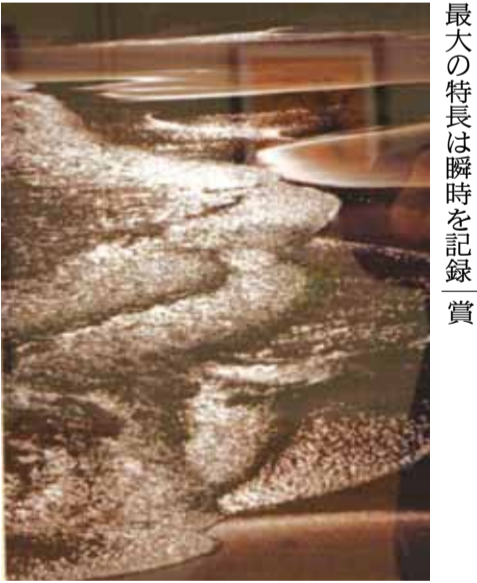


書

【審査概評】  
出品点数32点、出品者数24人。前年度より4点増し作品の質もレベルが高くなり充実していました。その中で賞の選考は大変困りましたが、線質、流れ、リズムが良い作品を選びました。県知事賞は、線質よくまとまりがありました。市長賞は、練度高く努力のあとが見えた作品です。今後の活躍を期待致します。

▽市教育委員会賞  
神々の宿る島の夜明け・圓田論(郷ノ浦)  
▽長崎新聞社賞  
花見・大欣和夫(郷ノ浦)  
▽吉岐文化協会賞  
山口幹雄賞を写真部門でいただくことができた。前景をぼかし、被写体をシャープにとらえてあり、秋の柔らかな光が全体を包む見事な作品である。揺れる波と光りを活かした県知事賞、水中の魚の美しさの市長賞など、色彩豊かな作品が目玉を引く。

写真も身近なものとなり、多くの市民の出品を期待しております。※写真は各部門の県知事賞



写真

### 【坂】

篠崎絹代 選

●特選  
才月の軋みを恐れ男坂  
益川ゆたか  
●準特選  
生き方を覚えし古希の坂歩む  
松永扶巳  
●軸吟  
山坂を越えた翁にあるゆとり

その幼稚園に一人、フィリピン出身のお母さんがおられました。当日のことです。その方が会堂の一番奥の一番隅で、今は懐かしく

## 牧師室便り 聖誕劇の思い出

— 7 —  
長尾 知明



私の最初の赴任地、群馬県にある前橋教会付属幼稚園、カナン園の聖誕劇で思い出す。  
クリスマス、教会付属幼稚園では聖誕劇をいたします。毎年、その学年ならではの味わいが出るもので、何回見ても新しい感動があります。  
父兄の方々もとても楽しみにしておられます。それで、先生方にとって頭を悩ませるのが、場所取りです。ルールを定めなかつたら徹夜組みまで出かねない勢いです。皆様、新調のビデオカメラを三脚に立て、我先にと絶好のポジションを目指します。  
11月に入り、クリスマスがいよいよ近づいて来ましたが、今年は、12月2日が第一アドヴェント(待降節)です。



クリスマス祝うライトアップ